

## 老舗建設会社の経営改善計画の作成と工事实行管理の強化による収益改善支援

事業者	支援・協力機関	
株式会社 岩田組	平井基也税理士事務所	三重県信用保証協会

## 企業の概要

明治40年創業の建設会社。バブル期をピークに一時期は大きく売上を伸ばしたが、公共事業の縮小と入札制度の変更等の影響の中、売上が減少し経営危機に瀕した。売上高4億円。従業員8人。

## 支援の概要

## ◆ 支援の経緯

顧問税理士として会計システムの整備と運用を指導していたが、不採算事業への対策遅れと工事管理の稚拙さが原因で赤字経営に陥り、資金繰りも切迫した。認定支援機関として、企業からの要請と三重県信用保証協会の後押しを受け、実行性の高い抜本的な経営改善計画の作成と実行支援に取り組んだ。

## ◆ 経営課題へのアプローチ

## ① 経営者の意識改革から着手

支援以前から経営者塾等で意識の改革を求めていたが、経営改善計画作成時には繰り返しコミュニケーションを図り、企業としての改革の必要性を説き、経営陣の意識改革を進めた。

## ② 早期に赤字垂れ流し体質に止血策を実施

事業別の採算評価と赤字要因を徹底して分析し、早期に不採算事業からの撤退を決め、社内体制を見直した。

## ③ 工事管理会議を設け、マネジメントを定着

工事実際原価を進行中に把握しながら指示を行えるように工事管理会議を設け、業務フローチャートの活用により工事の予算管理を定着させた。

## ◆ 支援成果

- ① 27年度9月期で単年度黒字化を達成
- ② 経営陣の収益意識の向上と予算管理の定着
- ③ 金融機関との信頼関係の向上

## 注目ポイント

## ◆ 支援機関の意思統一と連携強化

三重県信用保証協会の主導で、支援機関（税理士、取引金融機関）相互の連携が強化され、バンクミーティング等を通しながら効果的な資金支援を実行した。

## ◆ 認定支援機関による工事管理会議の運営支援

工事管理会議に、認定支援機関（平井税理士）自らが参加して運営支援をすると共に、経営陣や従業員と一緒に条件・仕様変更等への対策を検討した。